

TOYO ELECTRIC CORPORATION

第82期 上半期報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで



Contents

1	トップメッセージ		
	部門の連携を強化して、オール東洋電機で 社会が求める課題解決に取り組む		
4	トピックス	9	TOYOのものづくり
5	セグメント別概況	10	会社概要／株式状況
7	連結決算概要		



電子の夢を創る

東洋電機株式会社

証券コード：6655



部門の連携を強化して、 オール東洋電機で社会が求める 課題解決に取り組む

日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

当上半期は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、売上と利益の両面で影響を受けました。コロナ禍はいまなお収束を見通せず、お取引先企業様においても、新たな設備投資に慎重な状況が続いています。

当社は各事業部門の連携を強めるとともに、この機を生かして社内の業務体制の見直し、社員の意識改革などに向けた取り組みを強めています。

株主の皆様には引き続きご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

代表取締役 松尾 昇光

Q1

新型コロナウイルス感染症の収束が見えません。上半期の業績にどのような影響が出ていますか。

当初の計画と比べると、売上高で2割ほど不足しています。利益面では計画との乖離がさらに大きくなっています。受注の減少に伴い、事業部門に

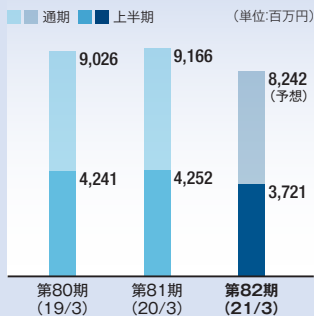
よっては一部生産ラインを止めるなど工場の稼働率を落としています。

お取引のあるお客様企業でも、コロナ禍の長期化による先行きの不透明感から、新たな設備投資案件に慎重にならざるを得ず、しばらくは様子見の状況が続く可能性があります。

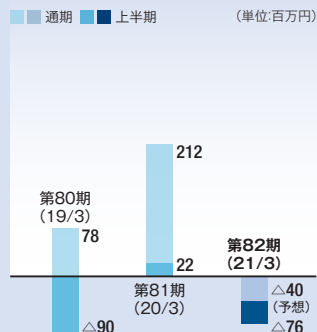
当社グループは、テレワークの導入や対面営業からWeb会議システム等を利用した新しい営業

連結決算ハイライト

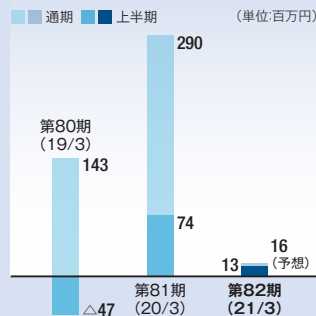
売上高



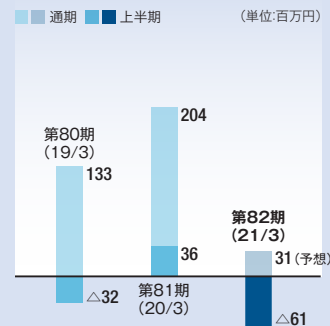
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する純利益



スタイルへの転換を進めるとともに、コア技術製品の競争力強化や次世代につながる技術・製品開発に向け、アフターコロナを見据えた活動を心がけています。

Q2 主要な事業部門の動きはいかがだったでしょうか。まず国内から……。

国内制御装置関連事業は、物流関連市場や省人化投資が比較的順調だったエンジニアリング部門が好調を維持したものの、機器部門、変圧器部門、デバイスソリューション部門の3部門の売上は減少しました。

エンジニアリング部門好調の要因は“巣ごもり需要”にあります。コロナ禍で外出自粛が進み、ネット通販で買い物をするケースが増えていることから、宅配業界の物流拠点における搬送制御装置の更新など根強い需要に支えられました。

機器部門は、主力のエレベータセンサでメーカー側が昇降機の生産台数を絞り込んだ影響を受けたほか、半導体や液晶の製造ラインで用いられる空間光伝送装置が中国を除いて需要が低迷したことによります。

変圧器部門は、データセンター向けの変圧器増設や保守メンテナンスが先送りとなりました。受配電設備を除いて売上が減少しています。

デバイスソリューション部門は、コロナ禍に伴う移動の自粛により、鉄道関連の設備投資案件が先延ばしになったほか、欧米向けデジタル印刷機の制御システムや配電盤分野も影響を受けました。

Q3 中国やタイにおける海外子会社はいかがでしたか。

海外制御装置関連事業は、中国およびタイの両拠点とも当上半期は黒字化を達成しました。

中国の南京華洋電気有限公司は、新型コロナウイルス感染症発生後、さまざまな規制を受けましたが、感染症が一段落してからは経営規模に応じた政府からの企業支援策もありました。コロナ禍からいち早く抜け出したこともあり、内需の拡大などを足掛かりに回復を急いでいます。

タイトーヨーエレクトリック株式会社は、タイ国内でコロナ禍の影響が軽微であったため、当上半期は黒字化を達成しています。今後にも備え、営業体制の強化を図っています。

Q4 先ごろ、「会社組織の変更と人事異動」を行いました。その狙いはどのようなものですか。

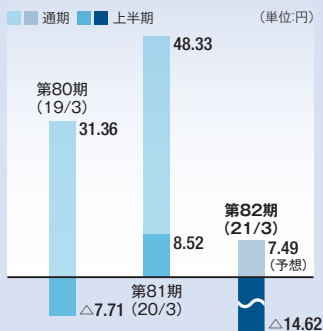
当社の課題の1つは、縦割り指向からいかにして脱却するかにあります。社員の多くは所属する部門にのみに目が行きがちで、特に営業社員は所属する事業部門の製品・サービスの販売にとらわれがちです。つまり、オール東洋電機ですべてのお客様に向き合うという姿勢がこれまで希薄だったわけです。

部門やグループをまたがった連携ができれば、技術の交流も生まれ、開発し販売される製品・サービスにもっと幅が出てくるはずです。これからは

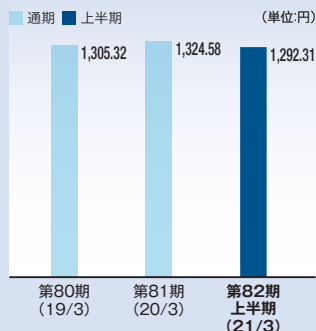


連結決算ハイライト

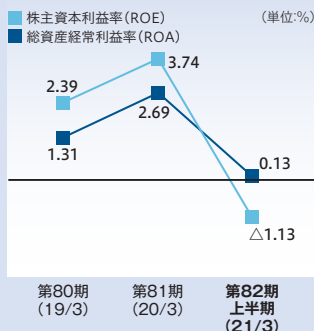
1株当たり純利益



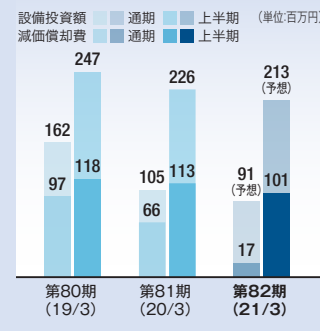
1株当たり純資産額 (BPS)



株主資本利益率 (ROE) / 総資産経常利益率 (ROA)



設備投資額/減価償却費



オール東洋電機で発想し、オール東洋電機でお客様と向き合っていかなければと考えています。

今回の組織変更では、まずコロナ禍における市場環境の変化や受注の低迷による影響を最小限に抑えることがテーマでした。そのため経営資源の集約による事業部機能の連携強化と業務の効率化を図ることを目的として、デバイスソリューション事業部を廃止し、そのリソースをエンジニアリング事業部と機器事業部に再配分しました。身の丈を一旦縮めて事業部機能の連携強化を狙っています。

当社グループのもう1つの課題は、お客様ニーズの掘り起こしにあります。社内には幾層もの開発組織や事業部の技術組織がありますが、お客様のニーズを探り、課題解決につなげるという動きのスピード感に答えられていませんでした。

R&Dセンターを筆頭にして、各事業部の開発、技術、製造、営業が相互に連携し、改めてお客様に対してオール東洋電機としてしっかりと向き合う体制を目指すこととしました。

Q5 新たにSDGs推進室とマーケティング室を開設しました。これら新組織の狙いについてもお聞かせください。

企業活動には社会の動きを大きな視点でとらえる“鳥の目”と、お客様の動きをすばやくキャッチして次の活動につなげる“虫の目”が必要です。事業部組織は、目先の業務に追われるあまり、この2つの視点のバランスをとかく見落としがちになります。

SDGs推進室とマーケティング室の開設は、それぞれの役割から事業部組織に新しい視点を提示し、業務をバックアップする狙いがあります。

ご存じのようにSDGsは、Sustainable Development Goalsの略で、「持続可能な開発目標」と呼ばれていますが、国連が中心となり、今、私たちの社会が抱える課題に対し17の目標と169のターゲットを設定し、地球に暮らす「誰一人とり残さない」ことを原則とした2030年までの目標です。貧困や飢餓だけでなく、環境問題や技術革新など、人類共通の課題が提示されています。

例えば、この13番目に「気候変動に具体的な対策を」という目標があります。私たちが暮らす中部圏は自動車産業が盛んですが、自動車に関係する企業はこぞって温暖化防止に向けた取り組みを強め、電気自動車や水素燃料車の開発に努めています。

この例からも分かるように、SDGsの開発目標には、ビジネスの新しい種が散らばっているわけで

す。私たちの電気機器関連業界でも既存の技術をベースとした発想だけでなく、社会が求める課題の中から新しい製品・サービスを創出する発想が強く求められています。

マーケティング室の新設は、お客様のニーズにかなう製品・サービスをお客様の視点で生み出そうという試みです。東洋電機グループはこんな製品・サービスならつくれま

すという従来の立場を捨て、もう一度お客様のニーズをしっかりとキャッチし、東洋電機グループの社内リソースとつなげて、ビジネスをさらに膨らませようという発想です。ここには従来の製品・サービスの売り方は真逆の発想で、お客様本位の新しい価値を提供する企画力や調査分析能力も含まれています。

Q6 コロナ禍で厳しい状況が続きそうですが、あらためて今後に向けた決意をお聞かせください。

ウイズコロナ、アフターコロナというこれまで経験したことのない事態が進む中、ビジネスのあり方も大きく変わろうとしています。私自身、およそ10年前にリーマンショックを経験していますが、今回は人々の日常の暮らしに直撃したという意味で、リーマンショックを上回る影響があると考えています。

この数年、私自身は東洋電機グループのあり方について、どこかで大胆な変革が必要ではないかと考えてきましたが、コロナ禍によって、私たちの足元を見直す、またとない機会を得たとも捉えています。

SDGs推進室の発足とともに私自身がその責任者となり、社員とワークショップを開催する機会が増えています。社員と意見交換を行い、一人ひとりの率直な声を聞くにつれ、経営ビジョンの見直しを含めて、この機会でないといけない変革に着手しなければと決意を新たにしています。

今、社会の変化のスピードを見るにつけ、既存の人財、技術力だけでそれに立ち向かうことができるのか、M&A(企業買収)などによって外部のパワーを取り込む施策も含めて検討を始めているところです。

コロナ禍で得た試練をプラスに転ずるためにも、小さくまとめるのではなく、未来の大きな飛躍につながる構想力が試されていると考えています。

株主の皆様にはご心配をおかけしますが、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



ニーズを読み、 社内のリソースにつなぐ

マーケティング室長 安田茂さんに聞く

外部の新しいニーズをつかみ、東洋電機グループがもつリソース、つまり技術力とマッチングさせて、価値をもつ製品・サービスにつなげることがマーケティング室の役割です。

例えば、近年、各地で豪雨水害が発生し、家屋が流されたり、人命が失われるという災害が多発しています。エレベータで培ったセンサの技術力などを応用すれば、河川の増水を把握し、避難予報につなげることができます。また、少子高齢化により人手不足が叫ばれています。高速・大容量のデータを送れるローカル5Gの技術を活用すれば、工場の“見える化”が進み、少ない人員でも業務の最適運用が可能になります。

課題はそうしたニーズをどのようにしてキャッチするか——いちばん良いのは、多くのお客様と接触することですが、コロナ禍が長期化する中、お客様先にも訪問できなくなっています。そこで当社のホームページに「マーケティング・オートメーション」の仕組みを取り入れることにしました。アクセスいただいた

マーケティング
室長

安田 茂



お客様の声からニーズを探り出すと同時に、お客様にメルマガで情報発信し、両者のパイプを太くします。

当面の目標は2つです。

- ①事業部の売上につながる技術・サービスをいかにして掘り起こすか。つまり“即戦力”の活用です。
- ②もう1つは、3年あるいは5年位で、次の柱となる製品を育てること。つまり“大器”の発掘です。

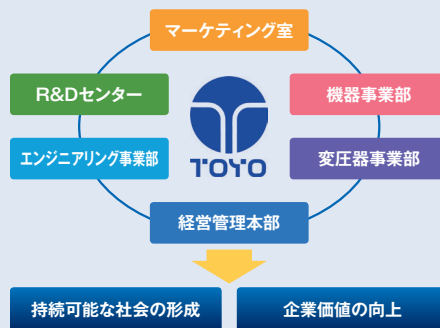
私は長年にわたって営業畑を歩いてきました。東洋電機に自分たちの足跡を1つでも多く残したいと考えています。

SDGs達成に向けた取り組み

当社は、SDGsを通じて、活力ある未来を創造する会社を目指す経営ビジョンの策定ならびに社員への浸透を推進するために、社長を室長とする「SDGs推進室」を2020年5月に設置しました。SDGsに積極的に向き合い、事業活動に取り入れることで、持続可能な社会の形成と企業価値の向上につなげてまいります。



SDGsについて／SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された発展途上国のみならず、先進国自身も取り組む2016年から2030年までの国際目標です。



SDGs推進ミーティングの概要

【開催概要】

日程：7月～10月 各日13時～17時15分
7/3(金)トライアル、7/16(木)、7/31(金)、8/11(火)、8/28(金)、9/14(月)、9/25(金)、10/9(金)、10/16(金)、10/30(金)、パート7/16(木AM)、パート8/20(木AM)

トライアル：8人/1チーム

本番：7or8人/1チーム×4チーム

対象者：管理職、一般職

開催場所：春日井工場、神屋工場、東京営業所、大阪営業所

内容：SDGsの概要説明、ワークセッション、ブレーンストーミング等



SDGs
推進ミーティング
風景

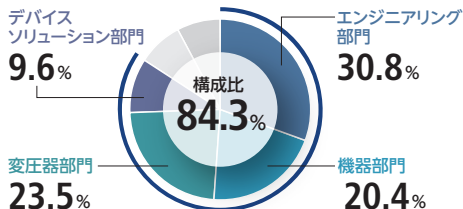
1. 国内制御装置関連事業

売上高

3,135 百万円

前年同四半期比12.8%減

営業利益 △62百万円



国内制御装置関連事業は、当社グループの中核事業として、日本国内を中心に事業展開をしております。当事業は4部門から構成されており、その内、エンジニアリング部門の売上高が増加したものの、機器部門、変圧器部門ならびにデバイスソリューション部門の売上高が減少したことにより、売上高は3,135百万円(前年同四半期比12.8%減)となりました。

エンジニアリング部門

売上高 1,147 百万円

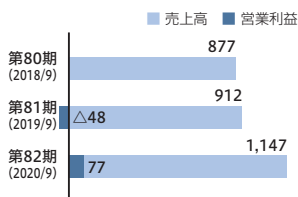
前年同四半期比

25.7%増

営業利益 77百万円

エンジニアリング部門の事業は、業界ごとに異なる制御システムを提供しております。当事業の内、物流関連市場の設備投資需要が増加したことなどにより、売上高は1,147百万円(前年同四半期比25.7%増)となりました。

売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



主要製品

- オンデマンドフォーム印刷機電装品
- インテリジェント多機能リレー (IPR)
- 宛名紙印刷搭載機

宛名紙印刷搭載機



機器部門

売上高 757 百万円

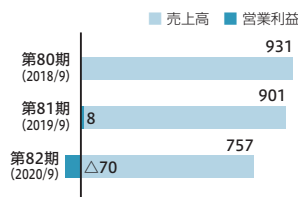
前年同四半期比

15.9%減

営業利益 △70百万円

機器部門の事業は、光技術を応用した様々な産業設備用機器を自社開発し、自社製品として提供しております。当事業の内、昇降機メーカーの生産計画縮小などにより、売上高は757百万円(前年同四半期比15.9%減)となりました。

売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



主要製品

- 空間光伝送装置
- エレベータ・エスカレータ関連機器



空間光伝送装置

変圧器部門

売上高 872 百万円

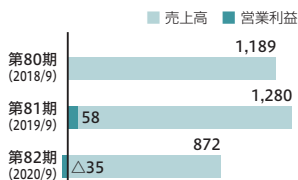
前年同四半期比

31.8%減

営業利益 △35百万円

変圧器部門の事業は、当社が設立以来常んでおり、受配電用変圧器から機械設備用変圧器などを提供しております。当事業は、受配電関連市場における施工の中断や遅延に伴う受注の減少などにより、売上高は872百万円(前年同四半期比31.8%減)となりました。

売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



主要製品

- 乾式変圧器
- 耐雷変圧器
- モールド変圧器
- 始動リアクトル

乾式変圧器 TKH4シリーズ



デバイスソリューション部門

売上高 358 百万円

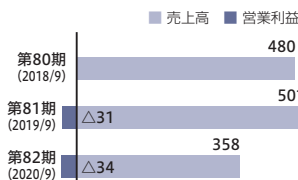
前年同四半期比

28.6%減

営業利益 △34百万円

デバイスソリューション部門の事業は、これまで培ってきた商品開発・システム開発の経験に基づき、新しい商品やソリューションを提供しております。当事業の内、営業活動の自粛に伴うシステム提案不足を背景とした受注の減少などにより、売上高は358百万円(前年同四半期比28.6%減)となりました。

売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



主要製品

- 省配線型搬送コントローラ(MRC)
- 交流電力調整器
- 情報表示器
- マジックピー

省配線型搬送コントローラ(MRC)



2. 海外制御装置関連事業

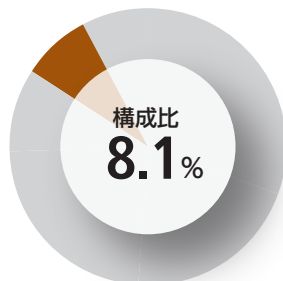
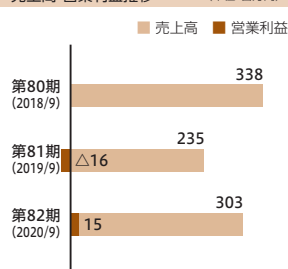
売上高 **303**百万円

前年同四半期比29.0%増

営業利益 **15**百万円

海外制御装置関連事業は、当社グループの海外企業2社が事業を展開しており、中国南京市にある南京華洋電気有限公司は、中国国内向けの盤関連製品の製造販売や、中国国内やタイ王国などに向けたエレベータ関連センサの製造販売を行っております。また、タイ王国にあるThai Toyo Electric Co.,Ltd.は、南京華洋電気有限公司から輸入したエレベータ関連センサの組立・検査・販売を行っております。当事業は、Thai Toyo Electric Co.,Ltd.において、エレベータセンサの需要が増加したことなどにより、売上高は303百万円(前年同四半期比29.0%増)となりました。

売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



主要製品

- 盤関連製品
(南京華洋電気有限公司のみ)
- ・ 高圧受配電盤
- ・ コントロールセンタ
- ・ PLC応用制御盤



C型コントロールセンタ



- エレベータ関連製品
(南京華洋電気有限公司と Thai Toyo Electric Co., Ltd.)
- ・ マルチビームセンサ
- ・ かご位置確認用センサ

エレベータセンサ
「かご位置確認用センサ」

3. 樹脂関連事業

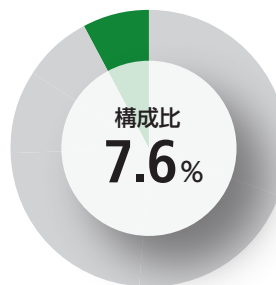
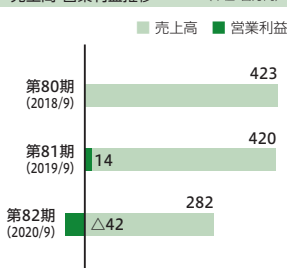
売上高 **282**百万円

前年同四半期比32.8%減

営業利益 **△42**百万円

樹脂関連事業は、当社グループの東洋樹脂株式会社が開展している樹脂リサイクル事業です。当事業は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自動車部品関連向けの需要が低迷したことなどにより、売上高は282百万円(前年同四半期比32.8%減)となりました。

売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



主要製品

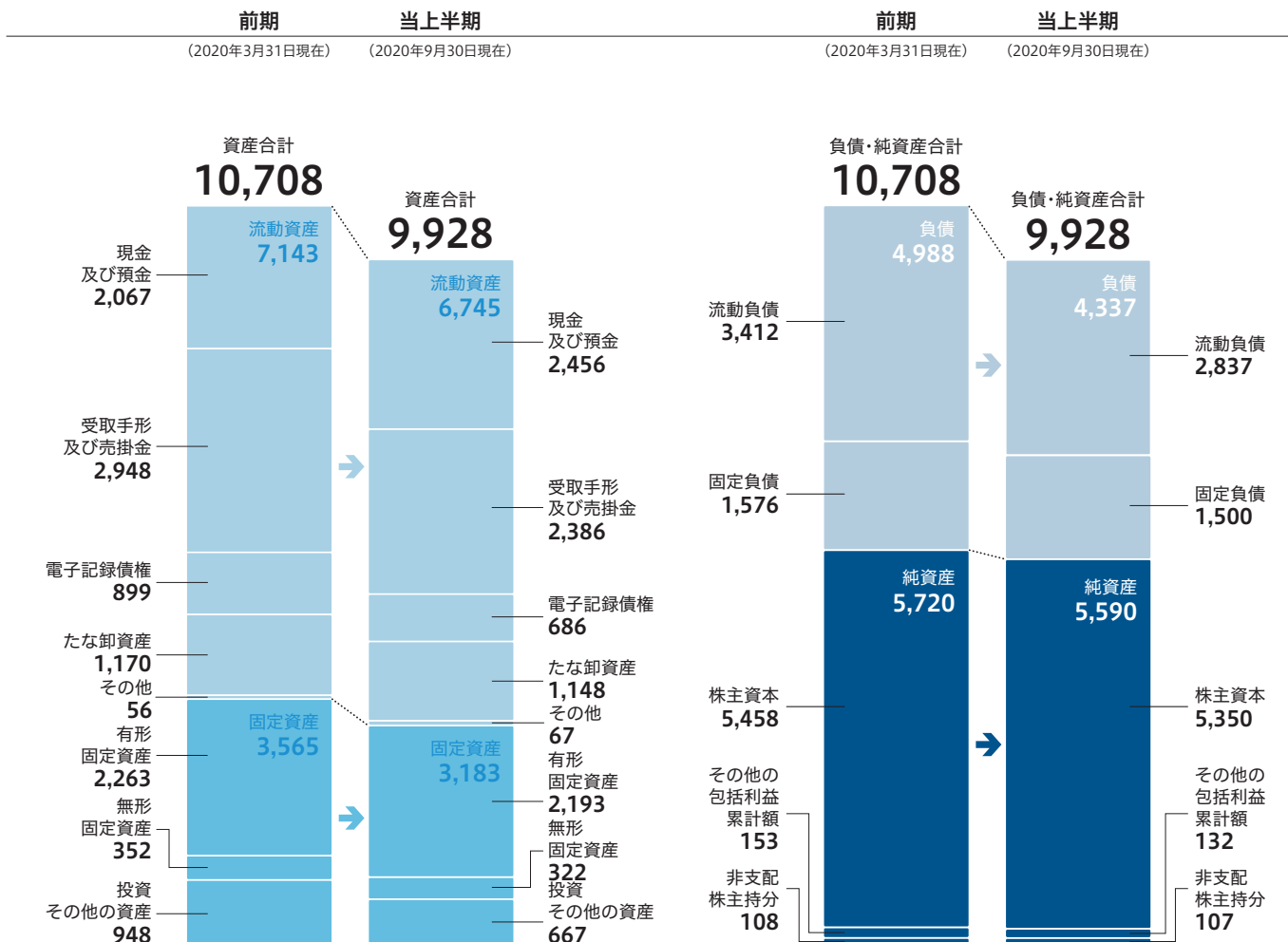
- 廃プラスチックのリサイクル
- リサイクル樹脂ペレットの生産・販売
- プラスチックのコンパウンド受託加工
- 樹脂パウダーの生産



樹脂ペレット

(注) 1. 前期分より営業利益を併記しております。2. セグメント別および部門別の営業利益は連結調整前の数値であります。

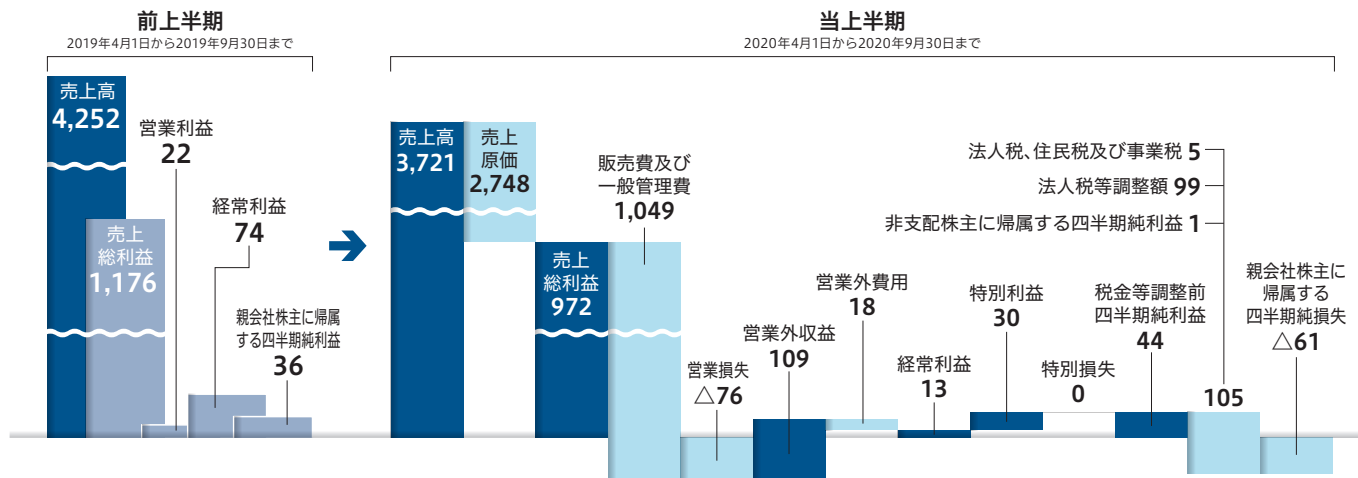
連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



POINT

総資産は、受取手形及び売掛金ならびに電子記録債権の減少などにより前期末比779百万円減少し、負債は支払手形及び買掛金の減少ならびに電子記録債権の減少などにより前期末比650百万円減少しました。なお、純資産は利益剰余金の減少などにより前期末比129百万円減少しました。

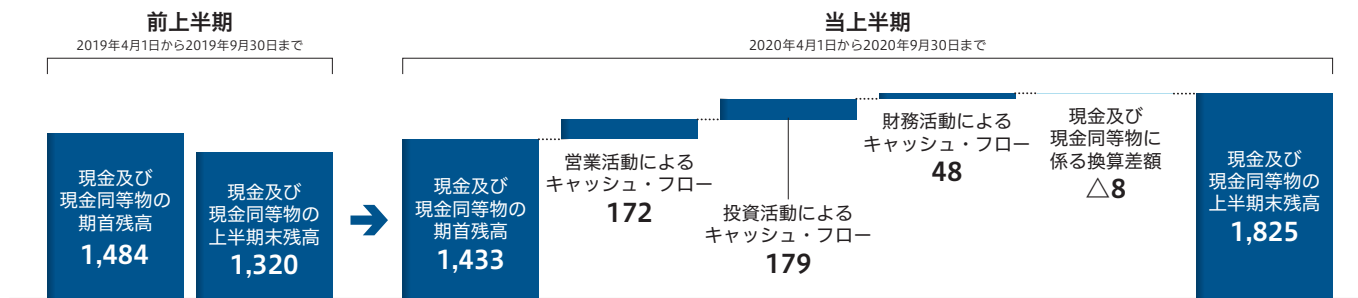
連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



POINT

当上半期は、テレワークの導入や対面営業から新しい営業スタイルへの転換、コア技術製品の競争力強化や次世代に繋がる技術・製品開発、時間当たりの生産性に対する意識向上を図るなどアフターコロナを見据えた活動を推進してまいりました。売上高は、エンジニアリング部門の売上が増加したものの、機器部門、変圧器部門およびデバイスソリューション部門の売上が減少したことにより、前年同四半期比12.5%減収となりました。利益面では、雇用調整助成金等の活用や社内改善活動の推進による経費圧縮に努めたものの、営業利益、経常利益ともに減益となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は61百万円となりました。

連結キャッシュ・フローの概要 (単位:百万円)



POINT

当上半期の現金及び現金同等物は、前期末に比べ391百万円増加し、1,825百万円となりました。営業活動の結果得られた資金は、売上債権の減少による収入などにより172百万円となりました。投資活動の結果得られた資金は、有形固定資産の取得による支出などにより179百万円となりました。財務活動の結果得られた資金は、長期借入金の純増加額などにより48百万円となりました。

新 発 売

UL・EN規格認証変圧器 (TVTシリーズ)

米国安全規格(UL)と欧州安全規格(EN)の両方の認証を取得した3相変圧器です。

特 長

- ◎北米地域の**UL規格**と欧州地域の**EN規格**に一台で対応が可能です。
- ◎第三者認証機関(UL(北米)、テュフズードジャパン(欧州))で認証を受けた**ダブル認証変圧器**です。
- ◎電圧の大きさごとに、**200ボルト系、400ボルト系、200ボルトと400ボルトのデュアルの3シリーズ**を用意。
定格容量は**3.46～34.6キロボルトアンペア**の9種から選択可能です。

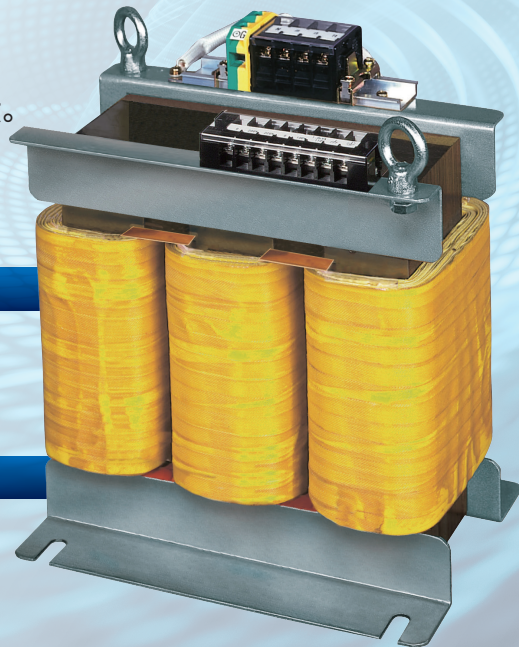
主な用途

- ◎欧州、北米両地域に輸出される機械類(工作機械等)への電源供給など。

今後の展開

- ◎欧州連合(EU)の新たな化学物質管理制度であるSCIP*に対応したとともに、北米の海外規格(UL規格)にも対応したため、海外への販売が可能。

*Substances of Concern In articles as such or in complex object (Products)



会社の概況

商号	東洋電機株式会社
設立	1947年(昭和22年)7月
資本金	10億3,708万円
本社・春日井工場	〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
神屋工場	〒480-0393 愛知県春日井市神屋町字引沢1-39
営業所	東京、名古屋、大阪
関係会社	東洋樹脂株式会社(愛知県小牧市)
	東洋電機ファシリティーサービス株式会社(愛知県春日井市)
	東洋板金製造株式会社(愛知県春日井市)
	南京華洋電気有限公司 (中華人民共和国江蘇省南京市)
	Thai Toyo Electric Co., Ltd. (タイ王国チョンブリ県)
主要取引銀行	商工中金、百五銀行、三井住友銀行、名古屋銀行
従業員数	個別:232名 連結:457名

役員

代表取締役 社長執行役員	松尾昇光
取締役 常務執行役員	井澤宏
取締役 常務執行役員	加藤茂男
取締役(監査等委員)	森正一
取締役(監査等委員)	葛谷昌浩
取締役(監査等委員)	井上誠

(注) 取締役葛谷昌浩及び井上誠の各氏は、社外取締役であります。

株式の概況

発行可能株式総数	9,000,000株(普通株式)
発行済株式の総数	4,694,475株(自己株式451,705株を含む)
株主数	1,519名

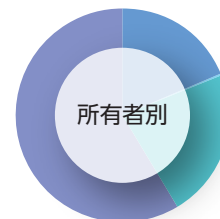
大株主

株主名	持株数	持株比率
有限会社城西	430千株	10.14%
東洋電機取引先持株会	315千株	7.43%
東洋電機従業員持株会	244千株	5.76%
株式会社商工組合中央金庫	232千株	5.47%
株式会社百五銀行	195千株	4.59%
松尾隆徳	173千株	4.08%
トーヨーテクノ株式会社	144千株	3.41%
松尾昇光	131千株	3.10%
第一生命保険株式会社	125千株	2.94%
日本生命保険相互会社	125千株	2.94%

(注) 持株比率については、自己株式(451,705株)を控除して算出しております。

株主分布図

金融機関	18.82%
金融商品取引業者	0.22%
その他法人	22.53%
個人・その他	58.43%



100単元以上	81.00%
10単元以上	14.98%
5単元以上	1.37%
1単元以上	2.63%
1単元未満	0.02%



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場取引所	株式会社名古屋証券取引所 市場2部 (コード6655)
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告のホームページアドレス	http://www.toyo-elec.co.jp/

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

第82期 中間配当金に関する お知らせ

第82期中間配当金は、2020年11月11日開催の取締役会で1株につき12円と決議いたしました。なお、配当金の効力発生日ならびに支払開始日は、2020年12月2日となります。

(注)「第82期中間配当金支払いに関する取締役会決議ご通知」のご案内は、郵送による発送をやめ、当社Webサイトへの掲載に変更させていただいております。何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

ホームページのご案内



最新の製品情報やIR情報などを分かりやすく掲載しています。

<http://www.toyo-elec.co.jp/> 東洋電機 検索



お問合せ先

東洋電機株式会社

〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
TEL.0568-31-4191 FAX.0568-31-8096

この報告書は植物油インキを使用しております

